

Whole Blood Elements Profile

全血中有害重金属および必須ミネラル 検体作成手順

<検査を始める前に>

この検査では特別な食事制限は不要ですが、採血は前夜の夕食後以降食物の摂取を控え翌日空腹の状態にて採血ください。それ以外の時間に採血した場合、検査結果に差異が生じる可能性があります。

医師の指示がない限り、検査を始める 72 時間前より、必須でない薬・ミネラルを含むサプリメントの服用を中止してください。医師との相談なしに処方薬の服用中止はしてはなりません。

※ 検体のコンタミを防ぐため、必ず同梱されたチューブを使用してください。

<キットに同梱されている物>

カリウム EDTA チューブ(青色ふたのもの)	1 本(運送用透明チューブの中に入っています)
運送用透明チューブ	1 本
吸収性パッド	1 枚
ジップロックバッグ	1 枚(上記チューブ及び吸収性パッドが入っております。)
検査申込書 (INTERNATIONAL REQUISITION FORM)	1 枚

必ず検体と合わせてラボへご発送ください、同梱がなされまないとラボにて分析がなされません。

検体作成手順(本紙)

Commercial Invoice 2 枚及び Sample Producer/Shipper Declaration 1 枚のセット.....1 部

(こちらは検体と共に封筒には同梱頂かず、検体発送時に日本郵便に 1 部(3 枚)提出頂くものとなります。検体発送時

Commercial Invoice には一番下の Date 欄に発送日の日付、Sample Producer/Shipper Declaration には担当医の署名と発送日の日付の記入が必要です。)

EMS 送り状

この他、検体発送用 EMS(国際スピード郵便)封筒をお付けしております。

不足がある場合は、デトックス(Tel: 03-5876-4511)までご連絡ください。

外箱は米国への郵送の為、破棄しないで下さい。

尚、本検査キットには使用期限がございます(検査キット外箱側面に記載)。使用期限内にラボにて分析が可能となりますよう、お使いください。

<検体の作成手順>

- ① カリウム EDTA チューブに採血します。チューブを満たすように採血し(最低 5ml)、しっかりと混ざるように 10 回逆さまに動かしてください。
- ② 患者名と採血日をカリウム EDTA チューブのラベルにローマ字で記入します。
- ③ 血液の入ったカリウム EDTA チューブを運送用透明チューブに入れ、しっかりとふたを閉めます。それを吸収性パッドの入ったジップロックバッグに入れて下さい。
- ④ 検査申込書に漏れなく必要事項を記入します。3. の Date sample was collected に採血日を、Time sample was collected に採血時間を、Is this an Overnight Fasting sample? に夜通し食わずに朝食前に行った採血か否かを YES か NO でお答え下さい。
4. に患者様の詳細を記入します。これらの記入がないと分析はされません。
- ⑤ キットの外箱に③で作ったチューブ入りのビニールバッグと④で記入済みの申込書を入れます。これで検体の発送準備が整いました。
- ⑥ 検体と検査申込書の入ったキット箱を検体送信用 EMS(国際スピード郵便)封筒に入れます。

発送に際しては、郵便局に直接持ち込むか、集荷を依頼されてください。

発送時には、検体が入った封筒、Commercial Invoice 2 枚及び Sample Producer/Shipper Declaration 1 枚のセット、EMS 送り状を渡します。

Commercial Invoice と Sample Producer/Shipper Declaration の Date 欄には発送日をご記入下さい(英語表記)。

送り状は控えをもらえますので、必ず保存してください。検体発送時の送料はご負担頂いております、ご了承ください。

(注) 申込用紙には記入漏れの無いよう記入してください。

ラボはできるだけ早い検体発送を推奨しています。また検体を採取日に発送することが難しい場合(週末、祝日等)は、発送できるまで冷蔵して下さい。

(注) 検体が凝固していたり、採取に不適切なチューブが使用されていたり、血液が 2mL 以下しか入っていない場合は、検査を行うことが出来ません。また発送前に検体を冷凍しないでください。

※ 検体ができるべく長く凝固しないようにするには？

凝固を防止するために、血液チューブには EDTA もしくは NaK が入っています。

血液がこれらのチューブに採血されたのち、凝固を防ぐために前後に 10 回反転させてください。

そして、その他に注意しなければならないのは、熱を与えないようにしてください。